

2019年度 松浦武四郎記念館友の会 活動内容は下記通り

- 4月 我々「友の会」が育てた蝦夷山桜3本が満開に
- 5月 原田二郎翁の90回忌に友の会代表3名が参列
武四郎の神鏡を訪ね佐田天神宮と菅原天満宮などへ
- 6月 松阪偉人顕彰団体の「瀆 博之」様に武四郎講座を
三雲ほつとギャラリーで1か月間活動写真展示
松浦武四郎記念館友の会の定期総会
- 7月 第5回松阪の偉人たち展 (武四郎関係のパネルと講話)
- 9月 他団体 (松阪歴史文化舎) との交流会
- 11月 全国大学駅伝選手権大会に北海道を垂れ幕で応援
武四郎誕生地で、初めての「友の会の歩み」展示
武四郎の足跡を訪ねてダム湖遊覧ツアー

12月 会員交流懇談会

2020年 (今後の予定)

2月 「第25回武四郎まつり」への協力

令和元年(2019年)会員交流懇談会

開催日：12月8日(日)

武四郎講座後、1H

場所：武四郎記念館会議室

参加者：30名

○内容は

3グループに別れて茶話会
の中で、役員1名が書記を
担当し他の役員は進行。



飯田会長は3グループを
順番に廻って話の中へ
入り、活発な発言もあり
有意義な交流会であった。

アイデアや意見の中から
役員会で検討後、来期の
事業計画に入れる。





武四郎も愛した花
 松阪 エゾマサクラが見頃

松阪出身の幕末期の探検
 いる。

家、松浦武四郎が北海道で
 エゾマサクラは北海道
 を探検していた武四郎が、
 めだだと同じ種のエゾマ
 サクラが、出身地の松阪
 雪の舞つ夜に目にして「さ
 えわたる月に起き出て眺む
 れば 花をまきせて遊覧せ
 近くの広場で見頃を迎えて

市小野江町の武四郎記念館
 えわたる月に起き出て眺む

花を咲かしたエゾマサクラは松阪市小野江町で

降る」と歌に詠んだ。記念
 雄友の会が二〇一〇
 年に北海道から苗を取り寄
 せ、十本を広場などに植
 えだ。昨年の台風で一本が
 倒れ、現在は高さ三メートル
 の十一本がまばらに花を付
 けている。今週末までが見
 頃という。

昨年、花付きを促す
 ため接切りをしており、友
 の会の飯田秀会長(モ)は
 「今年は花を付けるか心配
 だった。枝全体に花を咲か
 せるように育て、この場所
 を松阪の名所にしたい」と
 話した。

(水谷元海)



松浦武四郎誕生地
 文政元年(1818)に松浦武四郎が生まれ育
 ったと伝えられる地。建物は天保3年(1832)
 建築で、複製された建物の一つである。この1は
 は当時の様子を写している。複製には明
 治2年(1869)に松浦武四郎が建てた建物があ



写真：朝倉氏撮影

新聞記事：鹿田氏提供

5月27日(月)武四郎の神鏡を訪ねる研修バスツアー

佐田天神宮の本殿前で

集合写真。

参加者：43名



武四郎が奉納した小神鏡



パナソニックミュージアム

内「松下幸之助」銅像前に

於いて、集合写真。

昨年3月に完成した「松下幸之助歴史館」と「ものづくりイズム館」を見学。

菅原天満宮の本殿前に於いて、

禰宜の中村さんから、

お話を拝聴した後は、全員

が参拝する。

*菅原天満宮は

菅原家の発祥の地。



松浦武四郎記念館友の会：特別講演

開催日：令和元年6月9日（日）

時間：10時～10時50分

講師：濱 博之 様

松阪市偉人顕彰団体協議会：理事

参加人数：50名参加。

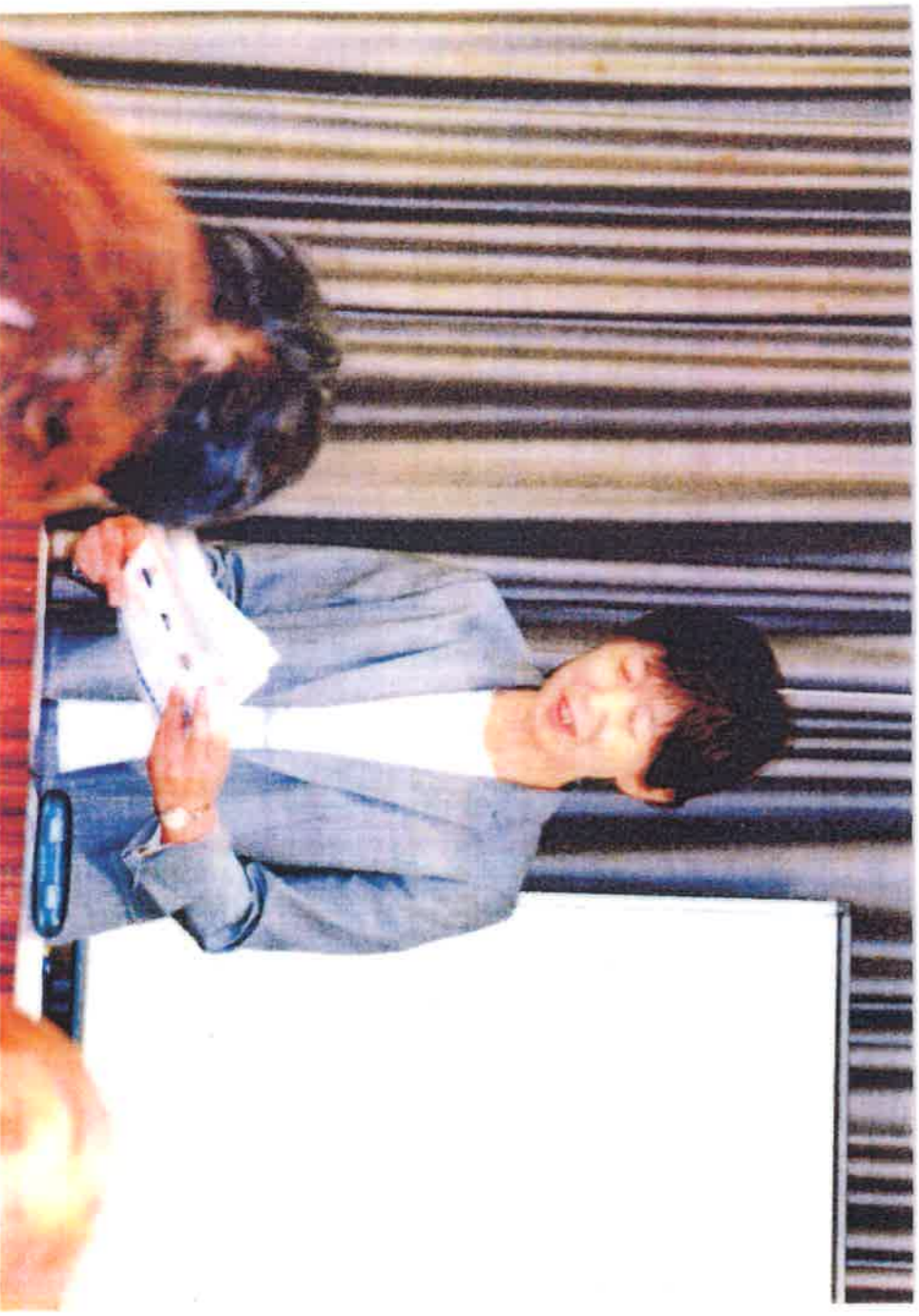
演題：竹川竹斎と松浦武四郎

*武四郎は15歳の時に、竹斎が延命寺で物産展に出展した時に武四郎も平松楽斎の紹介で出展。



資料をホワイトボードに張り付け
又、飯田会長が資料を掲げて、
全員に見えるように協力。

松浦武四郎記念館の館長になられた多賀館長から、参加者に質問をお受けされた後、講師の濱様から詳細に返答があり、会場の雰囲気も非常に良く大成功であった。



令和初めての松浦武四郎記念館友の会：総会

松浦武四郎記念館 友の会 定期会



総合司会は田中恒副会長が務め、冒頭に飯田会長が、挨拶の中で今後の意気込みなどを話した後議長には、出席者の賛同を得て喜畑雄介様に務めて頂き、全ての議案が承認されました。

開催日：令和元年6月9日（日）
時間：講座終了後の11時～



竹上松阪市長は公務の関係で、総会前に、ご挨拶をして、即次の会場へ直行された関係で、来賓挨拶については、三雲地域振興局石川局長が挨拶をされました。

今回は、監事を役員からではなく会員から2名選出して、承認されました。

一部役員が変わったので、役員全員を会長から紹介され、了解されました。

出席者35名が令和初めての総会と云う事もあり、真剣に耳を傾け活発な意見が出ました。



令和元年：他団体との交流会

松阪歴史文化舎との交流会

時期：令和元年9月9日(月)
(10時～11時50分)

場所：松阪市市民活動センター

*参加者

友の会会員：14名

松阪歴史文化舎：4名



友の会は事前に活動概要の資料を

全員に配布し、歴史文化舎は

理事長の話の後、スライドを活用

して活動の説明。

活発な意見交換で有意義な交流会

でありました。



武四郎誕生地で、初めての「友の会の歩み」展示

展示場所：武四郎誕生地母屋

期間：11/1～1カ月間

*今回初めて、「友の会の歩み」を
パネル2枚で展示と活動展示。

*中日新聞が取材され新聞に掲載。

友の会の歩み⇒



参加した友の会会員が大杉谷
や大台ヶ原のパネルを観賞



武四郎誕生2000年記念事業

*飯田会長が大台ヶ原と大杉谷の
研修バスツアーを担当。

大杉谷では、武四郎看板の除幕式
に参加と武四郎の足跡を訪ねる。



全国全日本大学駅伝対校選手権大会に北海道代表を応援

日時：令和元年11月3日(日)

応援場所：国道小野江交差点付近

友の会応援：会員10名参加

応援場所付近の駐車場で集合写真

*集合写真撮影後、事前に会員8名が担当を決めて応援場所の配置に就く。



作成した横断幕2枚で応援

*会員交流懇談会で北海道代表の応援を幟旗か横断幕でしてはと意見があり、横断幕2枚と拍手で応援する。



小野江を通過した走者は外人

*応援する走者は外人の留学生であり北海道代表として、札幌学院大学が代表として出場。



中日新聞

2019年(令和元年)11月20日 (水曜日)

武四郎も来た 大杉谷を巡る 記念館友の会會員ら

松阪出身の幕末期の探検家、松浦武四郎を顕彰している武四郎記念館友の会の會員ら二十七人が十七日、



武四郎が参拝した大杉大明神を訪ねた友の会會員ら「大台町大杉で

武四郎が晩年に訪れた大台町の大杉谷を巡った。

武四郎は一八八五(明治十八)年から八七年にか

け、奈良県境の大台ヶ原を探索し、登山道を整備した。八六年には大杉谷を訪

れ、樹齡千三年の大杉がある大杉大明神を参拝。現

在は富川ダムの湖底に沈んでいる浅井家に宿泊した。

會員らはダム湖の遊覧船に乗り、紅葉を楽しみながら、地元（バカ）の村田稔さん（ハ）ら、

夫妻から、浅井家など武四郎にゆかりのある話を聞いた。大杉大明神にも立ち寄

った。飯田秀會長（ハ）は武四郎との関わりに触れ感銘

を受けた。今後も大杉谷とのつながりを深めたい」と

話した。(清水悠莉子)



武四郎の足跡を訪ね ダム湖遊覧バスツアー

松浦武四郎記念館友の会

令和元年11月17日(日)

